

【4】短期大学

深く専門の学問や芸術について研究し、職業または实际生活に必要な能力を育成することを目的とする学校で、修業年限は2年または3年です。学校生活の期間が4年制大学よりも短いため、実習や就職活動がハードになりますが、そのぶん早く社会に出て働くことができます。短期大学の入試は一般選抜のほか、学校推薦型選抜（公募制・指定校制）、総合型選抜、大学入学共通テスト利用の入試などがあります。

（1）短期大学入試とは

①合格者の傾向 → 学校推薦型選抜・総合型選抜での合格者が多い。

②入試の時期 → 総合型選抜は3年生8月前後、学校推薦型選抜は3年生10～11月、一般選抜は3年生12月前後から試験を実施。受験申込はその1か月前くらいから開始。

③入試科目など → 学校により異なるので調べる必要がある。

総合型選抜は「レポートなどの課題」、「ポートフォリオや活動実績」「志望理由書」「面接」から合否判定をする学校が多い。後日、調査書の提出を求められる。

学校推薦型選抜は「面接」、「小論文（作文）」と高校の調査書から合否判定をする学校が多い。

一般選抜・特待生入試は国語、英語など1～3教科の試験が多い。

④合格のために → オープンキャンパスやパンフレットなどで、受験する学校の特徴や入試科目を早めに調べておく。

面接で「高校生活で頑張ったこと」を最低1つは言えるように、勉強、部活動、委員会活動などを頑張っておく！

総合型選抜では校外でのボランティア活動、部活動、生徒会活動や資格等の取り組みが見られるので、日頃からの頑張りを記録しておく。

高校からの調査書を少しでも良くするように、学校の成績（評定値）を少しでもアップさせ、欠席・遅刻をしないように努力する！

小論文（作文）対策として、特に国語の授業を大切にして、漢字や文章を書く練習を多くする。

学校によっては「特待生入試」などで教科の試験があるので、総合型選抜・学校推薦型選抜を考えている人も一般選抜を受けるつもりで学校の教科の勉強を日ごろからしっかりとしておく。

※学校推薦型選抜・総合型選抜の注意点

学校推薦型選抜では、他校との併願を認めない「専願」が条件になっていることも多く、指定校制推薦では原則として「専願」となります。総合型選抜も「専願」がほとんどです。受験校が「併願」できるのかどうかを調べ、「専願」で受験する場合は合格したらその学校に入学すると決めておきましょう。

(2) 受験方式の例（令和6年度入試）

◆中村学園大学短期大学部キャリア開発学科 総合型選抜

①【活動実績活用型】※選考で重視する点

- ・学校内外、正課内外を問わず、スポーツ・文化・芸術・ボランティア活動や、生徒会活動の様々な場面で熱心に活動した者。
- ・各種資格取得・検定試験者合格などに、熱心に取り組んだ者。探究活動に熱心に取り組んだもの。

②【授業参加型】※選考で重視する点

- ・本学科の授業への参加(オンライン参加)や与えられた課題に意欲的に取り組むことができる者。
- ・本学科での2年間を通じた学修の到達目標や卒業後の進路の展望など、自分の意見をまとめ、他者に分かるように説明できる者。

【試験科目】・1次選考：個人面接、書類審査（エントリーシート・活動報告書・調査書・課題シート）

・2次選考：テーマ作文

(3) 学校独自の特待生制度と奨学金制度の例（令和6年度入試）

◆例1) 香蘭女子短期大学

①「S特待奨学生」…2年総額(最大)40万円給付【1,2年次前後期設備維持費の一部10万円×4期】

[応募できるのは、次の各号すべてを満たす者。]

- ・学校推薦型選抜（指定校・公募）出願者で合格の場合、本学に確実に入学する者。
- ・当該年度3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込の者。
- ・全日制課程在学者については、3学年1学期までの全体の評定平均値が4.5以上かつ3年生7月までの総欠席日数が10日以内の者。

②「A特待生」…1年次15万円給付【1年次の設備維持費前期10万円、後期5万円】

[応募できるのは、次の各号すべてを満たす者。]

- ・学校推薦型選抜（指定校・公募）出願者で合格の場合、本学に確実に入学する者。
- ・当該年度3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込の者。
- ・全日制課程在学者については、3学年1学期までの全体の評定平均値が3.8以上(3.8~4.4が対象)かつ3年生7月までの総欠席日数が10日以内の者。

◆例2) 福岡女子短期大学

①「特別奨学生S」…2年間で最大40万円支給（子ども学科・健康栄養学科・文化教養学科）

2年間で最大60万円支給（音楽科）

※1年次の各学科の成績上位1/4(25%)以内であり、出席良好者は2年次も支給継続となります。

[対象となる入試・出願条件]

- ・指定校推薦入試の調査書記載の全体の学習成績状況が4.3以上かつ総欠席日数が10日以内の者。

②「特別奨学生A」…1年次のみ16万円支給

[対象となる入試・出願条件]

- ・指定校推薦・公募推薦の合格者のうち調査書記載の全体の学習成績状況が3.8以上かつ総欠席日数が10日以内の者。
- ・一般入試A、B日程…筆記試験の成績優秀者から若干名を採用。
- ・共通テスト成績利用入試A、B、C日程…成績優秀者から若干名を採用

★奨学金制度では、多くの短期大学が「評定平均値」と「欠席日数」を条件としています。

対象生徒になるためにも、1年次から日々の学校生活を大切に送りましょう。

★上記の奨学制度の詳細については、必ず各学校の「学生募集要項」等で確認してください。